授業科目名・形態	介護実習Ⅱ　　実習	必修・選択の別	選択	単位数	4
科目担当者氏名	石岡和志　柴田博　今野修	実務経験の有無	有	開講期	２年前期
科目ナンバリング	W6-2006c				

【授業の主題】

地域における様々な場において、対象者の生活を理解し、本人や家族とのコミュニケーションや生活支援を行う基礎的な能力を習得する学習とする。また、本人の望む生活の実現に向けて、多職種との協働の中で、介護過程を実践する能力を養う。

介護実習Ⅱでは、個別ケアを理解するため、介護計画の作成、実施後の評価やこれをふまえた計画の修正といった介護福祉士としての一連の介護過程すべてを実践する場として、実習指導者の配置等、施設要件が満たされた施設での実習とする。また、巡回指導では、個々の利用者の生活背景や生活リズムを理解し、必要な情報を収集し、自立支援の観点から実際の場面での介護過程の展開能力が育成されるよう指導する。

【到達目標】

1）多職種との協働の中で、介護福祉士としての役割を理解するとともに、サービス担当者会議やケアカンファレンス等を通じて、多職種連携やチームケアを体験的に理解する。
2）施設の運営や施設福祉と在宅福祉の連携について理解するとともに、高齢者や障害のある人への援助の方法を習得する。
3）日常生活援助に関する生活支援技術を習得する。また、生活を拡充する住生活設備や福祉機器に関する知識と活用能力を養う。

【授業計画・内容】

１．施設・在宅福祉の機能と介護福祉士の役割を理解する。
　1）施設や組織の全体的な仕組みや業務の流れを理解する。
　2）他職種の業務や相互の連携について学習する。
　3）施設の在宅支援について実践を通じて学習する。
２．個別介護過程展開の実際を学ぶ。
　1）利用者の状況に応じた介護を実践する。
３．生活支援技術を習得する。
　1）基礎的な部分を中心に介護業務を実践する。
　2）医学的健康管理やリハビリテーションについて学習する。
　3）利用者を取り巻く住生活設備や福祉機器に対する学習を深める。

【授業実施方法】

基本的には学外実習形式で行い、巡回指導の際はスーパービジョンを実施する。

【事前・事後学習】

・介護総合演習Ⅰで学んだことを中心に 30 分の予習及び実習内容を踏まえた 30 分の復習を行うこと。
・特別養護老人ホームや老人保健施設等、施設サービスについて事前に調べて理解を深めておくこと。

【関連する主な科目】

介護の基本、介護総合演習、介護過程

【教科書等】

最新・介護福祉士養成講座 10　介護総合演習・介護実習　第２版　中央法規出版

【参考文献】

泉順：介護実習への挑戦、ミネルヴァ書房

【成績評価方法】

実習記録 50%、実習内容 50%とし総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

福祉施設で介護職員として介護業務を経験してきた。介護の現場で経験を活かし、実践的な介護技術を習得できるように指導していきたい。

【学生へのメッセージ】

日々の実習目標を設定し、積極的に取り組んでほしい。実習期間が長いので体調の自己管理も重要になる。